

高校生、大学生等が統計の有用性を理解し、統計データを適切に活用できるよう、市区町村別統計データの分析に関するコンペティションを開催します。（6月26日募集開始）

## □概要

e-Statの「統計でみる市区町村のすがた」の統計データ※を用いた分析結果を募集し、アイデアと解析力を競うことで、高校生、大学生等の統計リテラシーの向上を図る。



※ e-Stat（政府統計の総合窓口）には、人口・世帯、経済基盤、教育、居住、健康・医療、福祉・社会保障など国民生活全般の実態を示す11分野、795項目の市区町村別統計データを収録。今後、収録データの一層の充実や、類似する市区町村を比較する機能の拡充などを予定

## □募集・表彰

- 平成30年6月26日（火）から、高校生部門及び大学生・一般部門の2部門において、分析結果を募集（締切：9月18日（火））
- 優良な分析結果については、平成30年11月の全国統計大会等において表彰予定（「総務大臣賞」等）

詳しくは募集ページ(<https://www.nstac.go.jp/statcompe>)を御覧ください。



## □主催

総務省・独立行政法人統計センター・一般財団法人日本統計協会